



2015年12月号

◆ サイエンスやまぐち 2015 入賞作品

先月、「サイエンスやまぐち 2015」を閉展しました。たくさんの御来場をいただきありがとうございました。県内各地から推薦された児童・生徒の皆さんの優秀な作品（自然の部 170 点、創造の部 55 点）が展示されました。優秀賞受賞作品、受賞者は次の通りです。



[自然の部] 自然を相手にして取り組んだ観察・実験の研究物

- 小学校 1・2年の部
「お水ピカピカ お花イキイキ 大きくせん」 古屋 佑望さん
- 小学校 3・4年の部
「ダムの干上がった底の植物たちⅢ」 松本 英士さん
- 小学校 5・6年の部
「お風呂ポカポカ心もほっこり大作戦」 古屋 里紗さん
- 中学・高等学校の部
「アメンボの水面での脚の動かし方」 浴井 遥さん

[創造の部] 創意工夫した生活用具や遊び用具など

- 小学校の部
「アナログプログラムロボットを作る！-Ⅱ-」
河崎 史樹さん
- 中学・高等学校の部
「蒸散の仕組みを応用した自動打ち水システムの開発」
高木 将巨さん



◆ 出前授業の紹介

平成 27 年度も終わりが近づいてきました。今年度、御利用が多かった出前授業の御紹介をします。11 月までに御利用が多かった出前授業は、「天体教室」「化石レプリカづくり」「葉脈標本づくり」「昆虫教室」でした。出前授業とは別に、「ミニ博物館」も大変人気があり、多くの御利用をいただいております。今回はその中でも特に利用回数の多かった天体教室について、御紹介します。

天体教室

天体教室は夜の授業、昼の授業があります。夜の授業は、全校行事や野外活動にあわせての実施が多く、児童・生徒が夜空に興味をもつ良い機会となっています。昼の授業は小学校4年生や小学校6年生からの依頼が多くあります。この学年に多くの御利用いただいている理由は、4年生の理科「月と星」、6年生の理科「月と太陽」の授業にあわせて学習するためです。授業の導入やまとめで実施することが、効果的な学習につながっています。



基本プログラム

※ 出前授業の内容は学校の目的等に合わせ、変更できます。

スライドを使った学習

- ・月の動きや見え方
- ・太陽の特徴
- ・太陽系の惑星について
- ・季節やその日に観察できる星、星座
- ・星座早見盤の使い方
など

体験活動

- ・月や星座、惑星等の天体観察（夜）
- ・太陽望遠鏡を使った太陽（黒点やプロミネンスなど）の観察（昼）
- ・月の写真パネルを使った天体望遠鏡の使い方（昼）
- ・星座早見盤の作成
- ・月の南極面の模型づくり
- ・月球儀づくり
など

展示

- ・惑星模型（7億分の1 サイズ）
- ・隕石
- ・大型球面スクリーン（※）を使った天体映像
など



球面スクリーンに天体映像を投影



太陽望遠鏡で見た太陽

※大型球面スクリーンは、ジャイアントバルーンを大型の鉢（プラスチック製）に乗せて作っています。

天体教室以外にもたくさんのお出前授業を御用意していますので、今年度3学期や来年度以降、授業や行事の中で御活用いただきますようお願いします。詳しくは下記のHPを御覧ください。

■お問い合わせ■

詳しくは山口博物館のホームページ
(For School)を御覧ください。

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



山口県立山口博物館

〒753-0073 山口市春日町 8-2
TEL 083-922-0294
FAX 083-922-0353